

明治安田生命



「価値創造」報告書 2022

— 明治安田生命がつくりだす価値 —

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



明治安田生命

「確かな安心を、いつまでも」

お客さまに「確かな安心を、いつまでも」お届けすること
この使命のもと、お客さま・地域社会・未来世代・働く仲間との絆を大切に、
わたしたちは「人に一番やさしい生命保険会社」をめざします

INDEX

明治安田生命のあゆみ P3

明治安田生命の価値創造 P5

明治安田生命が実現していくこと

1 明治安田フィロソフィー P7

2 2「大」プロジェクト P9

3 SDGs達成への貢献 P17

4 環境保全・気候変動への取組み P19

明治安田生命の強み

1 多様な人財と幅広いネットワーク P21

2 充実したアフターフォロー P23

3 企業・団体の福利厚生制度運営のサポート P25

4 確実・迅速なお支払い P27

5 高い健全性と成長性・収益性 P29

6 経営体制 P31

7 明治安田生命グループ事業 P35

トップメッセージ P37

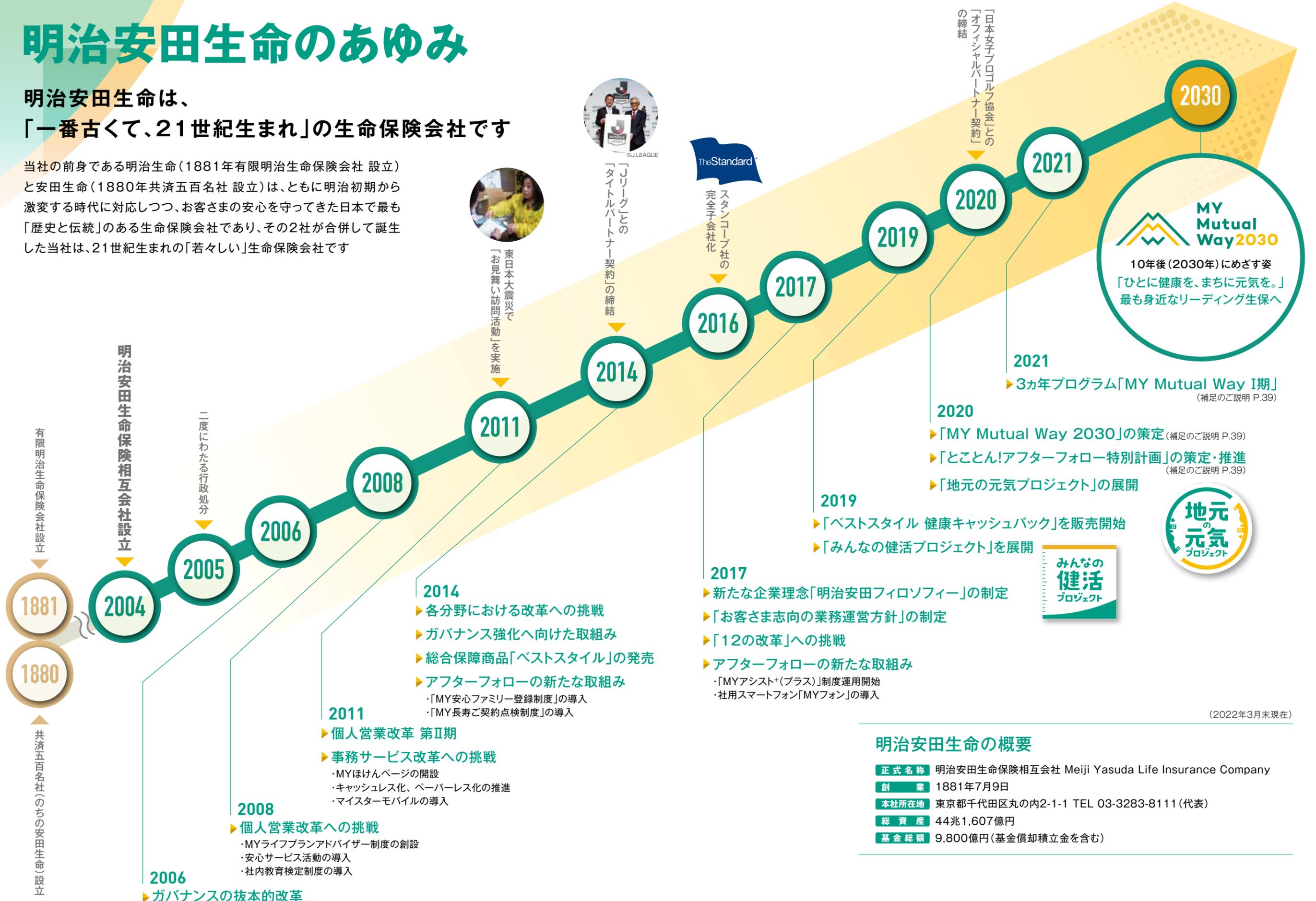
補足のご説明 P39



明治安田生命のあゆみ

明治安田生命は、
「一番古くて、21世紀生まれ」の生命保険会社です

当社の前身である明治生命（1881年有限明治生命保険会社 設立）と安田生命（1880年共済五百名社 設立）は、ともに明治初期から激変する時代に対応しつつ、お客さまの安心を守ってきた日本で最も「歴史と伝統」のある生命保険会社であり、その2社が合併して誕生した当社は、21世紀生まれの「若々しい」生命保険会社です



明治安田生命の概要

- 正式名称** 明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company
- 創業** 1881年7月9日
- 本社所在地** 東京都千代田区丸の内2-1-1 TEL 03-3283-8111（代表）
- 総資産** 44兆1,607億円
- 基金総額** 9,800億円（基金償却積立金を含む）

明治安田生命の価値創造

「明治安田フィロソフィー」を経営の根幹に据えて、
社会的価値・経済的価値の向上をめざします



10年後(2030年)にめざす姿

「ひとに健康を、まちに元気を。」
最も身近なリーディング生保へ
(補足のご説明 P.39)

時代を超えて進化 するお客さま志向 (経営の 基本姿勢)

時代を超えて「確かな安心を、いつまでも」お届け
お客さまの生涯にわたって提供し、100

年先も続く安定した経営をしていきます

地域社会のお客さまに 最も支持される生命保険会社 (社会的価値の向上)

- お客さま一人ひとりに寄り添った究極の
アフターフォローと、お客さまが暮らす地域に
密着した活動で、地域に密着した
最も身近な生命保険会社をめざします
- 地域のみなさまの暮らし・健康を豊かにするための
さまざまな取組みを全国各地で展開します

業界の リーディングカンパニー (経済的価値の向上)

- 将来のいかなる環境変化のなかでも、
100年先も続く安定した経営をベースに、
つねに国内トップクラスと評価されるような
生命保険会社をめざします
- 国内生保分野での各地域のシェア拡大とともに、
資産運用や海外保険分野でもさらなる収益の向上、
そしてトップクラスの健全性を堅持します



©スタジオ地図

環 亜希 (たまき あき)

お客さまに寄り添ったアフターフォローだけではなく、お客さまの健康増進や、地域社会の活性化をサポートする
当社のMYリンクコーディネーター(営業職員)のイメージキャラクターです
「環」は「輪、めぐる」、「亜」は「次ぐ」、「希」は「希望」を意味し、お客さまのご希望を一步引いた(次の)立場
から支える、つなぐことをイメージしています



明治安田生命ビルと明治生命館
(東京都千代田区)

明治安田生命が 実現 していくこと

明治安田フィロソフィー

企業理念「明治安田フィロソフィー」を
経営の軸に据え、お客さま・地域社会・
未来世代・働く仲間との絆を大切に、
確かな安心をお届けしてまいります

私たちの羅針盤

明治安田フィロソフィー

「明治安田フィロソフィー」は、当社の基本的な理念を示すものとして、
経営理念、企業ビジョン、明治安田バリューで構成しています

経営理念

Mission

存在意義・使命

私たちは何者か

確かな安心を、いつまでも

企業ビジョン

Vision

長期的にめざす姿

私たちは
何をめざすのか

信頼を得て選ばれ続ける、
人に一番やさしい生命保険会社

4つの絆を大切に企業ビジョンの実現をめざしています

お客さま
との絆

地域社会
との絆

未来世代
との絆*

働く仲間
との絆

明治安田バリュー

Value

大切にすべき価値観

私たちは何を大切に
していくのか

お客さま志向・倫理観

一. 私たちは、お客さまを大切にし、高い倫理観のもと行動します。

挑戦・創造

一. 私たちは、果敢に挑戦し、新しい価値を創造します。

協働・成長

一. 私たちは、働く仲間と互いに助け合い、共に成長します。

※2022年度から「企業ビジョン」に定める3つの絆（「お客さまとの絆」「地域社会との絆」「働く仲間との絆」）に、「未来世代との絆」を追加し、
未来の世代を想い、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献する姿勢を明確化しています

明治安田生命が 実現 していくこと

「ひとに健康を、まちに元気を。」 最も身近なリーディング生保へ

当社は10年計画「MY Mutual Way 2030」で掲げた
「10年後(2030年)にめざす姿」の実現に向け、2「大」プロジェクトである
「みんなの健活プロジェクト」と「地域の元気プロジェクト」に取り組みます



ひとに健康を、まちに元気を。

みんなの健活プロジェクト

健康を、いっしょに育てよう。

みんなの 健活 プロジェクト

健康増進型商品・サービスや運動
機会の提供等を通じ、お客さまの
健康増進をサポートします

お客さまや地域のみなさまの
健康づくりをサポートする3つのステップ

「知る」

健康状態や病気のリスクを
知る独自のサービスをご提供します



「つくる」

対面・非対面を問わず、楽しんで
参加できるイベントをご案内します



ボールを使ったヨガ体操
(久留米支社)

「続ける」

健康をささえ、応援する
商品をご提供します※2※3

万一を支える、健康を応援する

ベストスタイル 健康キャッシュバック **女性がん・早期発見サポート**

[5年ごと配当付組立総合保障保険]

いまから **認知症保険 MCIプラス**

5年ごと配当付認知症終身保障保険(解約返戻金抑制型)
(補足のご説明 P.39)

地域の元気プロジェクト

つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。



地域と連携した取組みやスポーツ
応援などを通じ、地域のみなさま
が安心できる交流機会をサポート
します

地域のみなさまが安心できる
交流機会をサポートする3つの宣言

「つながり」

生活課題の解決に役立つ
地域の情報・サービス等を
みなさまにつなげます



お役立ち情報のご案内イメージ

「ふれあい」

道の駅・公民館・スポーツ
団体等との協働により、
ふれあいの場をつくります



道の駅での健康増進イベント
の開催(久留米支社)

「ささえあい」

自治体・地元団体への
募金や協業支援により、
ささえあいに取り組みます



「私の地元応援募金」の贈呈式
(越谷支社)

※1「MY健活レポート」は、当社指定の健活商品へご加入のお客さまに提供するサービスであり、表示される内容は加入商品によって異なります
※2「ベストスタイル 健康キャッシュバック 女性がん・早期発見サポート」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」
「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」を付加した場合の販売名称です
※3「いまから認知症保険 MCIプラス」は「軽度認知障害終身保障特約」を付加した場合の「いまから認知症保険」をいいます

お客さまの健康増進をサポートします

万一を支える、健康を応援する^{※1}

ベストスタイル
健康キャッシュバック

〔5年ごと配当付組立総合保障保険〕
(補足のご説明 P.39)

累計販売件数

100万件突破
(2022年6月現在)

健康なときから、もしものときまで、
健康ステージに応じてサポートする
“健康増進型保険”を提供しています

健康サポート・キャッシュバックお支払実績

健康診断結果をご提出いただいたお客さまへ健康状態に応じて、3つのキャッシュバック
ランクを判定し、毎年最大で保険料1ヵ月分相当をキャッシュバックします

累計金額 **69.3**億円 累計人数 **59.3**万人
(2022年3月末現在)

MY
健活
レポート

健康を支え、応援するために、
健康に関する情報・アドバイスを提供しています

「ベストスタイル 健康キャッシュバック」のご加入者を対象に、ご提出いただいた健康診断結果
データをもとに約100万人分の医療ビッグデータを活用して分析し、お客さまごとの健康情報を
まとめた「MY健活レポート」をお届けしています
総合的な健康状態を年齢で表す「健康年齢[®]」^{※2}や「健康アドバイス」などを提供しています

直近1年間で健康意識が高まった人^{※3}の割合

(当社実施2022年健康に関するアンケート調査)

健康増進型保険
ご加入者 **75.5%** 未加入者と比較して **+14.9pt**

健康意識が高まった主な理由^{※4}

健康キャッシュバックを受けたい

MY健活レポートを見た

担当者の健康アドバイスを受けた

※1 「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」を付加した場合の販売名称です

※2 「健康年齢[®]」は(株)JMDC社の登録商標です

※3 健康意識がもともと高く維持できている人の割合を含みます。コロナ禍により健康意識が高まった人(健康意識向上の要因として「コロナの重症化リスクが怖いから」「家にいる時間が長くなり、運動機会が減ったから」のみを選んだ人)を除きます

※4 当社が提供しているサービスに関するものです

お客さまや地域のみなさまの
健康づくりをサポートするイベント等をご案内しています



明治安田生命Jリーグウォーキング

地域のみなさまが地元のJクラブ選手等と楽しみながら
一緒に歩く、ウォーキングイベントを全国各地で
開催しています



(徳島支社)

132回 累計参加者数 **32,221**人
(2022年3月末現在)



明治安田生命ゴルフトーナメント

全国での予選大会、その上位プレーヤーによる地区
大会、さらにその上位プレーヤーによる全国決勝大会
を開催しています[※]

※2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、
全国決勝大会の開催は見送っております



(北海道大会)

185大会 累計参加者数 **10,010**人
(2021年4月~2022年3月)



明治安田生命大人の塗り絵コンクール

2022年度から認知症予防の効果が高いとされる
塗り絵を活用したコンクールを全国で開催しています



塗り絵の完成イメージ



明治安田生命の健康チェック

2022年度からお客さま・地域社会のみなさまを対象に、
気軽に健康チェックができる「先進健康測定機器体験会」
を全国で開催しています



健康チェック風景

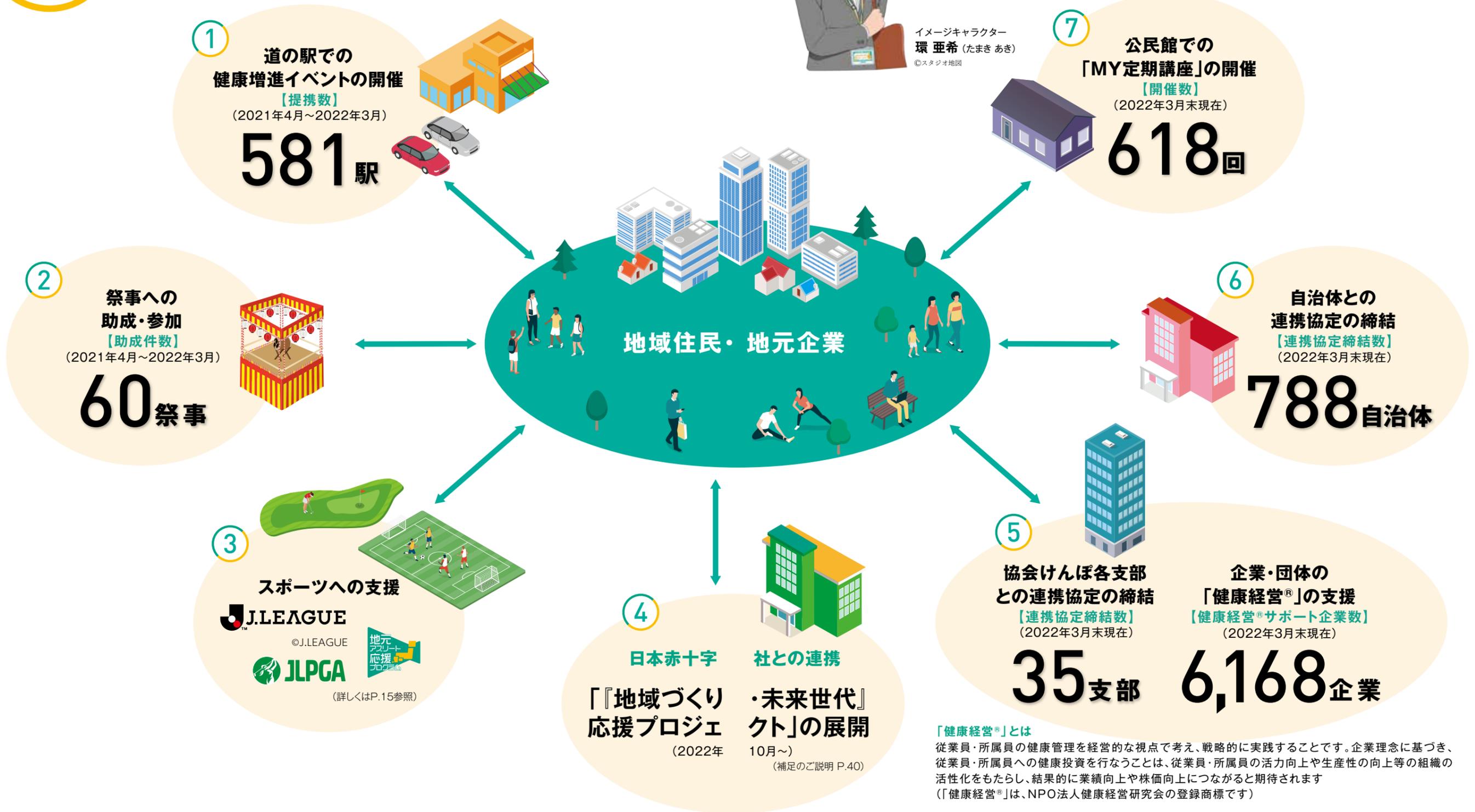


7つの取組みを通じて 豊かな地域づくりをサポートします



お客さまや地域のみなさまの健康づくりをサポートすることに加えて、地域に根差したさまざまな取組みを通じて、「豊かな社会づくり」へ貢献し、地域社会が抱えるさまざまな課題・ニーズに応えていくことをめざしています

イメージキャラクター
環 亜希 (たまき あき)
©スタジオ地図



「地元の元気プロジェクト」の取組状況

各自治体等と連携した地域課題の解決に向けた取組みや、スポーツ応援などを通じ、多くの方にご参加いただいております

プロジェクト参加者数

42.8 万人
(2021年4月～2022年3月)

自治体と連携した取組数

2,555 回
(2021年4月～2022年3月)

「私の地元応援募金」による寄付額
(補足のご説明 P.40)

累計 **12.2 億円**
(2022年3月末現在)

スポーツへの支援を通じ、 「健康」と「元気」をみなさまにお届けしています

わたしたちは、Jリーグの タイトルパートナーです



JリーグやJクラブ等とともに、地域に根差した活動を行なっています

全58クラブ等^{※1}とスポンサー契約締結

全従業員が「全員がサポーター」を合言葉に一丸となってJリーグそして地域のクラブを応援するとともに、地域でのイベントなどの協働取組みを行ない地域社会の活性化およびJリーグの発展に貢献しています



2021シーズン J1優勝トロフィー贈呈式



(大阪本部)

Jリーグウォーキング

132回 / 32,221人参加^{※2}



(松山支社)

スタジアム観戦

153万人観戦^{※3}



(長岡支社)

小学生向けサッカー教室

1,068回 / 76,576人参加^{※4}

わたしたちは、日本女子プロゴルフ協会の オフィシャルパートナーです



日本女子プロゴルフ協会とともに、参加しやすい運動の機会を提供しています

女子プロゴルファー3選手と所属契約締結

3名の所属選手を応援するとともに、JLPGAのオフィシャルパートナーとしてゴルフを通じた心身の健康を楽しく育む機会を地域にお届けしています



当社所属選手
左から鶴岡果恋選手、勝みなみ選手、小倉彩愛選手



(品川支社)

JLPGAプロによる
ティーチング活動

50大会 / 2,141人参加^{※2}



動画コンテンツ「おうちで健活」で
ゴルフレッスン等を提供

再生回数約60万回^{※2}



2022年3月開催の「明治安田生命
レディースヨコハマタイヤゴルフ
トーナメント」へ特別協賛
(高知県 土佐カントリークラブ)



わたしたちは、若手アスリートを支援しています

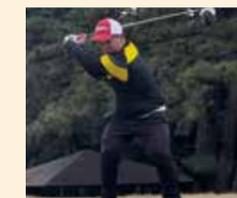
地元アスリート応援プログラム

- 地域の若手アスリートへの応援を通じて、子どもたちの夢や地元愛を育むことに貢献しています
- 地域が一体となって応援できる仕組みとしてクラウドファンディングを活用しています

若手アスリートを支援

40都道府県61名

(2022年4月1日現在)



ゴルフ
香川友選手
(千葉県出身)



フェンシング
東莉央選手
(和歌山県出身)

※1 Jクラブがない都道府県においては、JFL・地域リーグ等に所属するクラブとスポンサー契約を締結しています ※2 2022年3月末現在です ※3 2015シーズン から2021シーズンまでの累計(JFLを含む)当社従業員、その家族、お誘いしたお客さまの総数です ※4 2015シーズンから2022年3月末までの累計です

明治安田生命が 実現 していくこと

SDGs達成への貢献

SDGsにおける17のゴール、およびこれらに内包される169のターゲットから導き出される社会課題のうち、当社の「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」の観点から、15項目を「優先課題(マテリアリティ)」に設定し、その解決に貢献する取組みを推進しています



事業活動を通じて SDGsの達成に貢献します

「お客さま」「地域社会」「働く仲間」をはじめとするステークホルダーとの共通価値を創造するとともに、その価値を「未来世代」に引きつぐことを通じて、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献します



▶ 特に注力する優先課題

みんなの健活プロジェクト
健康寿命の延伸

3 すべての人に健康と福祉を

地元の元気プロジェクト
地方創生の推進

11 住み続けられるまちづくりを

▶ さらなる取組みが必要な優先課題

「環境保全・気候変動への対応」を「さらなる取組みが必要な優先課題」と設定し、事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化します

環境保全・気候変動への対応

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう

▶ その他の優先課題

- 金融包摂(金融アクセスの確保等)
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備

株式会社SDGインパクトジャパン(SIJ社)との資本・業務提携について

SIJ社と協力し、当社のサステナビリティ経営の推進と、機関投資家としての責任投資の取組みをいっそう強化していきます

【業務提携の主な内容】

- 革新的なESGファンドの共同組成・投資
- 地域社会への貢献に資する取組みの共同研究等



(左から) SIJ社 会長/谷家 衛氏
明治安田生命 取締役代表執行役社長/永島 英器
SIJ社 共同代表取締役/小木曾 麻里氏

明治安田生命が 実現 していくこと

環境保全・ 気候変動への取組み

人々が安心して暮らせる地球環境を永続的に
保全することが人類共通の重要課題であると認識し、
事業者・機関投資家の双方の立場から、
持続可能な社会の実現に貢献することをめざします

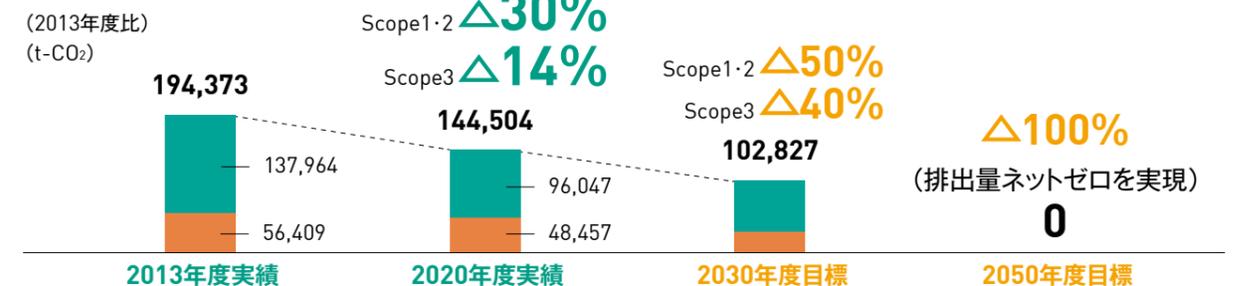


2050年におけるCO₂排出量と吸収量の 差し引きゼロ(ネットゼロ)をめざします

事業者として

環境問題、特に地球温暖化対策への取組みは、企業の社会的責任と捉え、環境に与える負荷を
できる限り小さくするとともに、従業員の環境意識向上に取り組んでいます

【事業者としてのCO₂排出量】

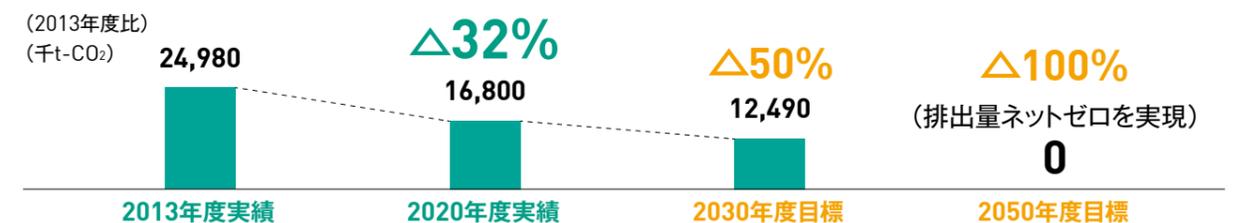


*Scope 3の集計方法を見直したため、2013年度までさかのぼって修正しております

機関投資家として

当社は責任ある機関投資家としてご契約者へ還元するための収益性を確保しつつ、SDGs達成
への貢献の観点をもまえ、「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」の課題を考慮した、「ESG
投融資」「スチュワードシップ活動」等の責任投資を推進しています

【機関投資家としてのCO₂排出量】



環境保全・気候変動に関する主な取組み

- 保有不動産のLED化や照明・空調等の運用の見直し
- 社用リース車のハイブリッド車への切替え
- 再生可能エネルギーの導入
- 紙製クリアファイルの導入

脱炭素社会実現に貢献する責任投資の推進

- グリーンボンド・トランジションファイナンス等への投融資
- 投融資先のCO₂削減計画の実現に貢献する継続的な対話



◀当社が投資するトランジション・ボンドによる風力発電プロジェクト

明治安田生命の 強み

多様な人財と 幅広いネットワーク

多様な人財と幅広いネットワークで、お客さまに寄り添った
アフターフォローをお届けします

強固な事業基盤と 国内外に広がるネットワーク

(2022年4月1日現在)

お客さま数(個人営業)

717万人



MYリンクコーディネーター等
(営業職員)

3万6,635人

事務・サービスに関する専門知識を活かした
「訪問型サービス活動」を実践する
「事務サービス・コンシェルジュ」等
(補足のご説明 P.40)

2,351人

国内営業拠点数

1,168拠点

お客さま数(法人営業)

497万人



企業・団体を
担当する職員

860人

課長相当職以上の
女性管理職比率

34.1%

管理職のうち女性が占める割合*

3人に2人以上

※MYリンクコーディネーター等
(営業職員)の幹部職を含みます

海外保険事業

5カ国、**7**社
(詳しくはP.36を参照)

海外お客さま数

800万人

(2022年3月末現在)

明治安田生命の 強み

明治安田生命ならではの 充実したアフターフォロー

生命保険は将来に想いを残す「カタチのない」商品です。
 当社は、お客さまに「確かな安心を、いつまでも」を
 お届けするアフターフォローの充実に努め、お客さまが
 健康で安心して暮らせるよう、生涯にわたって寄り添います



お客さまのご要望に応じて
 対面でも非対面でも充実したアフターフォローをお届けします

MYリンクコーディネーター等
 (営業職員)によるアフターフォロー

MYリンクコーディネーター等が定期的にお伺いします

【対面・非対面によるお客さまへのアクセス回数】
 (2021年4月～2022年3月)

7,768万回

事務サービス・コンシェルジュ
 によるサポート (補足のご説明 P.40)

事務・サービスに関する専門知識を有する「事務サービス・コンシェルジュ」がMYリンクコーディネーター等に同行しお手続きをサポートします



【お手続きサポート件数】
 (2022年3月末現在)

16万件

お客さま専用サイト
 MYほけんページ (補足のご説明 P.40)

時間や場所を問わずご契約内容の確認や給付金のご請求をしていただけます

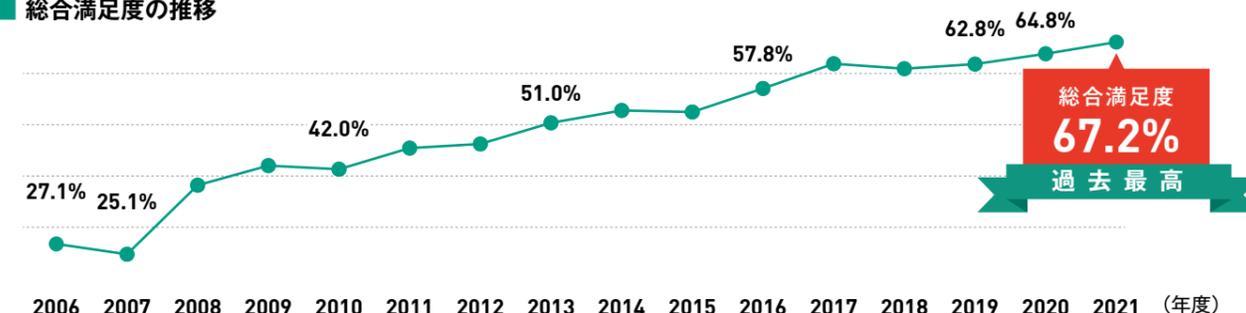
【累計登録者数】
 (2022年3月末現在)

250万人

「時代を超えて進化するお客さま志向」を大切に、
 「お客さま満足度」の着実な向上をめざします

おかげさまで2021年度のお客さま満足度は過去最高値*となりました

■ 総合満足度の推移



2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 (年度)

*2006年の調査開始以来、「①満足」「②やや満足」「③ふつう」「④やや不満」「⑤不満」の5段階評価のうち、「①満足」+「②やや満足」の割合となります

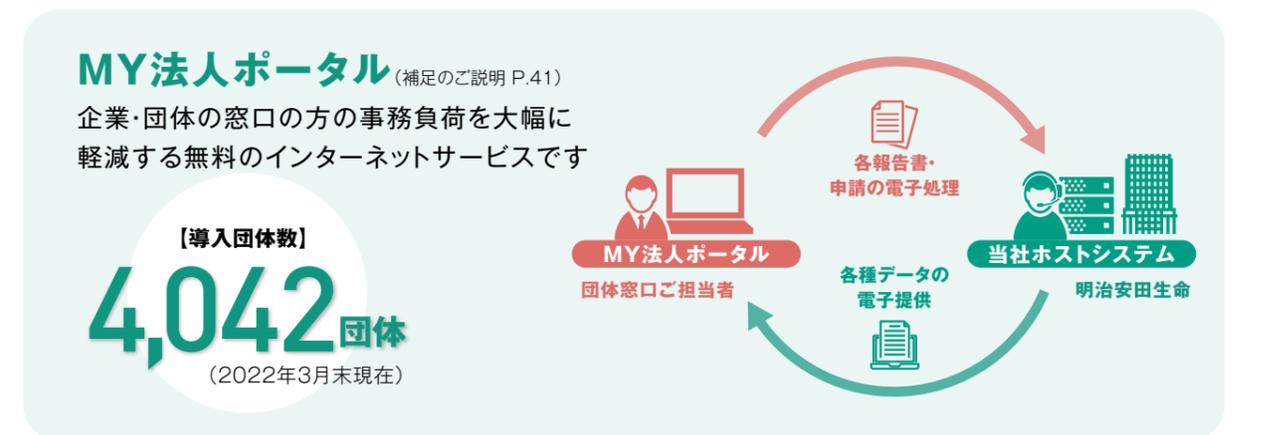
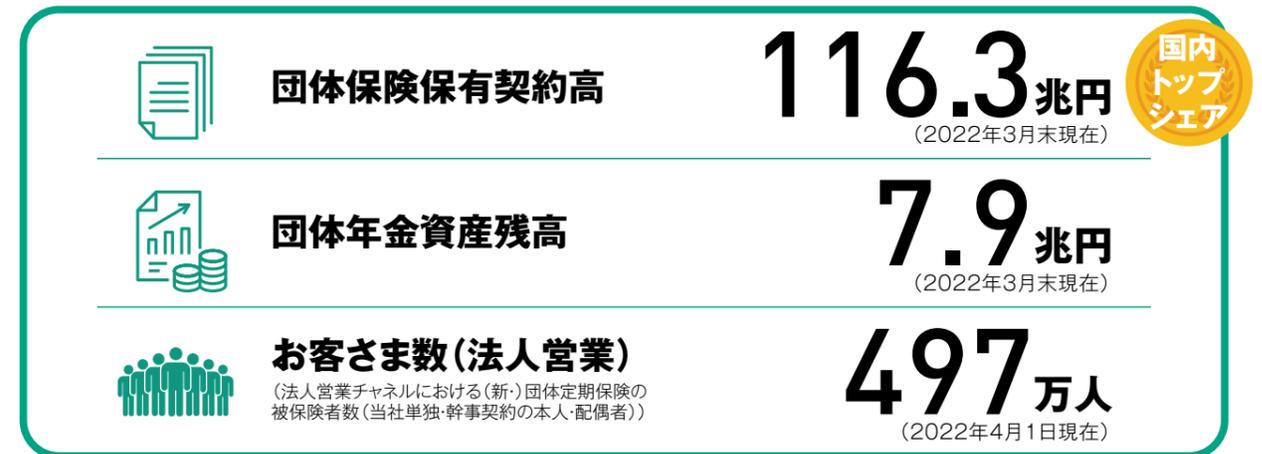
明治安田生命の 強み

企業・団体の福利厚生制度の 運営をサポート

団体保険分野のリーディングカンパニーとして、
団体・企業のお客さまにも「確かな安心」をお届けします



企業・団体と従業員・所属員のみなさまに寄り添ったサービスを提供し、
引き続き団体保険分野で「国内シェアNo.1」の地位を確保しています



2022年4月から
提供開始

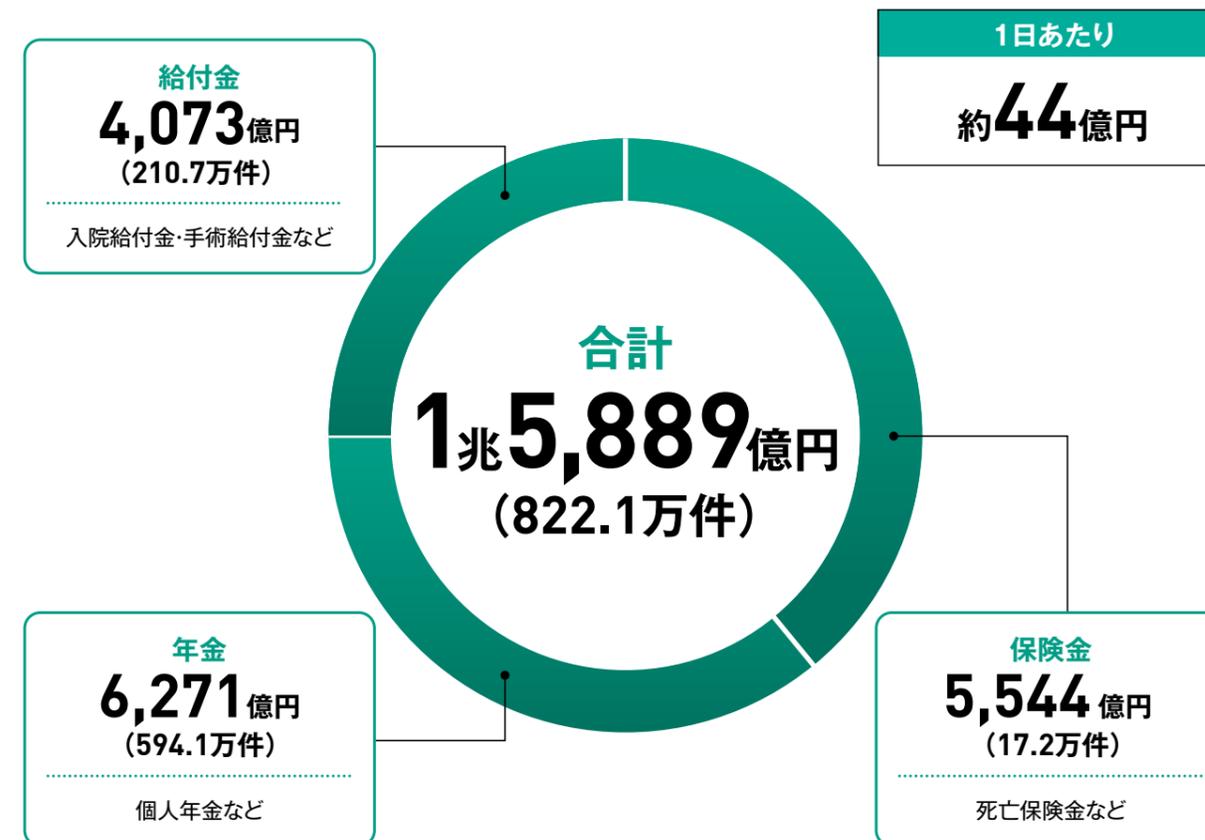
企業・団体向け健康増進型商品 団体がん保障保険 (補足のご説明 P.39)
従業員・所属員の方ががんに罹患したときだけでなく、がんの予防から復職まで幅広くサポートします

明治安田生命の 強み

確実・迅速なお支払い

お客さまに「確かな安心」をお届けできるよう
保険金・給付金等の確実・迅速なお支払いに努めます

2021年度にお支払いした保険金・給付金・年金



新型コロナウイルス感染症でお支払いした保険金・給付金



明治安田生命の 強み

高い健全性と 成長性・収益性

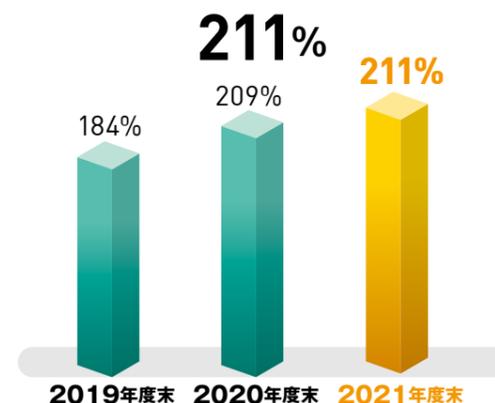
お客さまに「確かな安心」を提供するために、「健全性」を最重要としつつ、「成長性」「収益性」のバランスを取りながら、企業価値の着実な向上に取り組んでいます

グループESRを経営判断に活用し、財務の健全性を確保しつつ、企業価値の持続的成長と安定的な配当還元の実現をめざします

2021年度決算

■健全性

グループESR (補足のご説明 P.41)



連結ソルベンシー・マージン比率 (補足のご説明 P.42)



■成長性・収益性

グループ保険料 (補足のご説明 P.42)



グループ基礎利益 (補足のご説明 P.42)



■格付 (2022年5月1日現在)

格付投資情報センター (R&I)

保険金支払能力

AA-

日本格付研究所 (JCR)

保険金支払能力格付

AA-

ムーディーズ (Moody's)

保険財務格付

A1

S&P

保険財務力格付け

A+

*格付とは、第三者である格付会社が、保険会社の保険金支払能力に関する確実性を評価したものです
 *上記の格付は、当社が依頼して取得したものです
 *記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です
 *格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません
 *格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります

明治安田生命の 強み

経営体制

「相互会社」としてご契約者の意思を経営に反映させるとともに、透明性、実効性の高いガバナンス体制を構築しています

相互会社運営

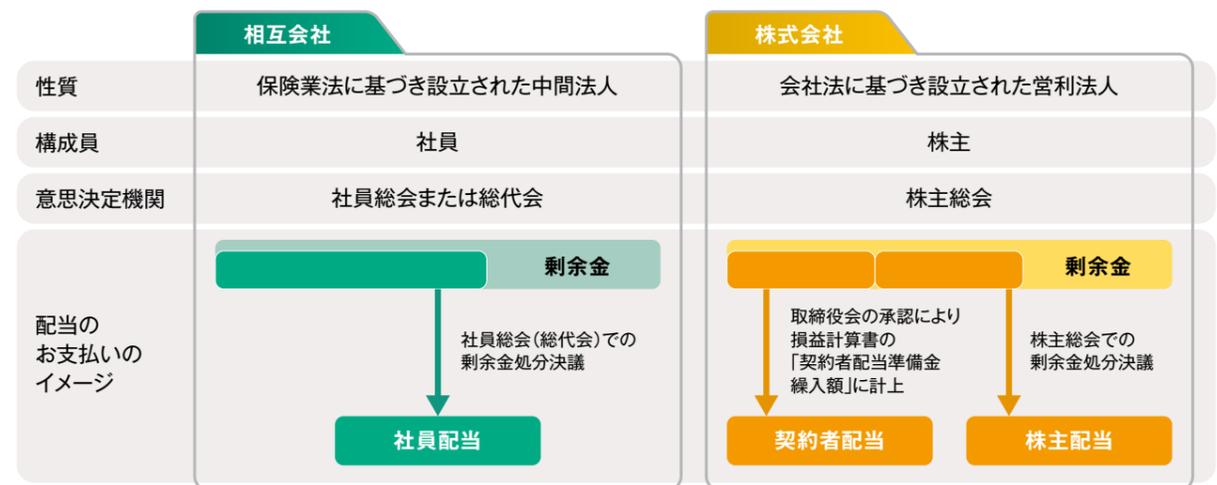
相互会社とは

保険会社の会社形態には「株式会社」と「相互会社」があり、当社は保険業法に基づいて設立された「相互会社」です

相互会社とは、ご契約者を会社の構成員「社員」とする社団法人です。そのため、ご契約者お一人おひとりが会社の運営に参画することで、中長期的な視点に立って、ご契約者の意思を反映

することができる会社形態です

当社は、相互扶助の精神のもと、相互会社としてお客さまそして地域社会を支えてきました。これからも、お客さまそして地域社会を大切にする会社に徹し、いつまでも変わらない安心をお届けしてまいります



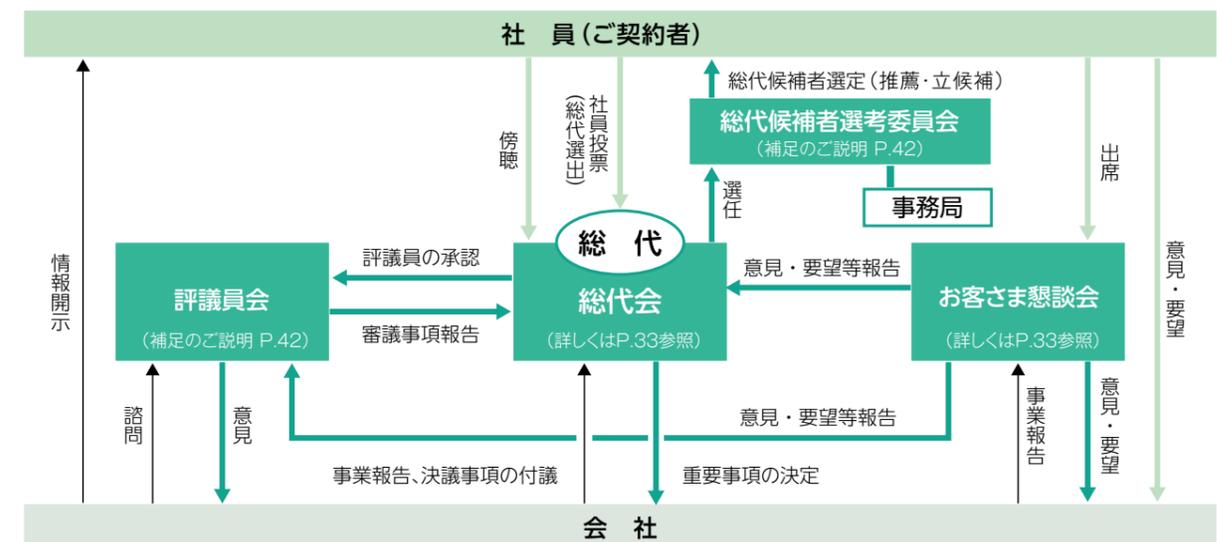
*ここで示しているものは、配当のお支払いのイメージであり、金額の多寡や有利不利を示したものではありません

相互会社制度運営の仕組み

当社は「総代会」を中心に、「総代候補者選考委員会」「評議員会」「お客さま懇談会」の各機関が連携し「相互会社制度運営」の充実を図ることで、

ご契約者のみなさまのご意見・ご要望がより経営に反映されるよう努めています

* 剰余金の分配のない保険のみにご加入のご契約者は社員には含まれません



総代会

会社の運営に直接参画いただくため全国の約625万人の社員のみならず一堂に会する「社員総会」を開催することは、現実的には困難です。このため、社員の代表として選出された「総代」で構成される「総代会」を設置し、最高意思決定機関として決算書類の報告、また剰余金処分や取締役の選任など、経営に関する重要な事項について審議および決議を行ないます。社員の代表として選出される

総代の定数は定款において222人と定めています。多様な視点から経営の重要な事項を審議するため、地域、職業、年齢等を考慮し幅広く選ばれた総代構成となるようにしています(200人は、地域別選出による120人と地域別選出によらない80人に配分)。また、22人については、総代選出プロセスの多様化と透明性の強化を目的に導入した「立候補制」により選出される総代です

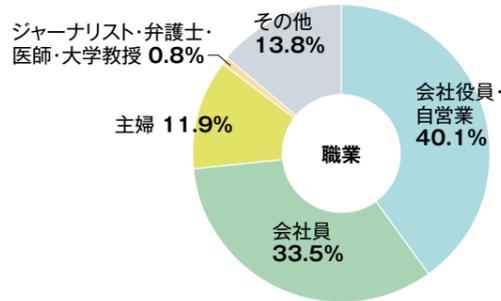
お客さま懇談会

ご契約者のみなさまに当社の事業活動を報告し、ご理解を深めていただくとともに、ご意見等を直接お伺いし、ご契約者の意思を反映する経営を行なうことを目的に、「お客さま懇談会」を毎年全国で開催しています。2021年度は2022年1月から2月に、全国のすべての支社で開催し、合計2,126人のご契約者にご出席いただきました。

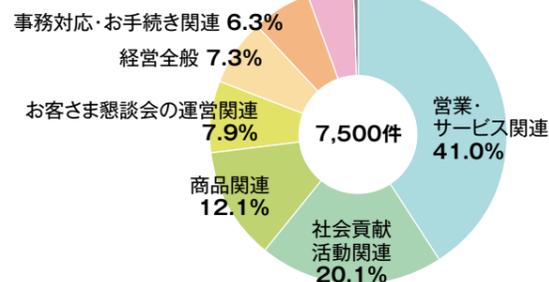
ご契約者から寄せられたご意見・ご要望等については、総代会・評議員会等において報告するとともに、改善を要するご意見・ご要望等については、担当部が対応を検討し、経営会議の諮問機関であるお客さま志向検証委員会を通じフォローを実施しています

2021年度お客さま懇談会

ご出席者の構成



ご意見・ご要望・ご質問等の内訳

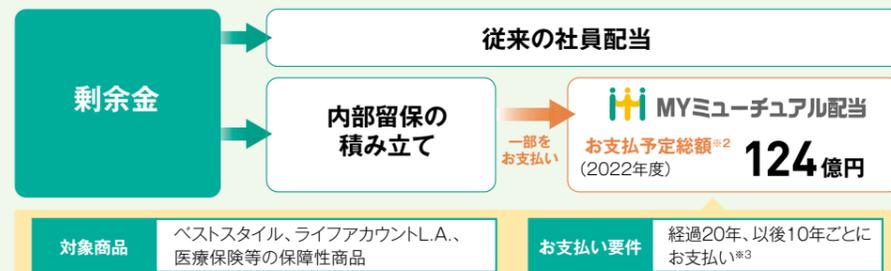


相互会社の特長を活かした新たな配当の開始

MYミューチュアル配当

2021年10月1日から、ご契約者が社員である相互会社ゆえに実現できた「MYミューチュアル配当」のお支払いを開始しています。「MYミューチュアル配当」とは、当社の高い健全性

を支える内部留保の積み立てに特に貢献いただいているご契約者に、従来の「社員(ご契約者)配当」に加えて、内部留保への貢献度に応じてお支払いする「業界初」*1の新たな仕組みです

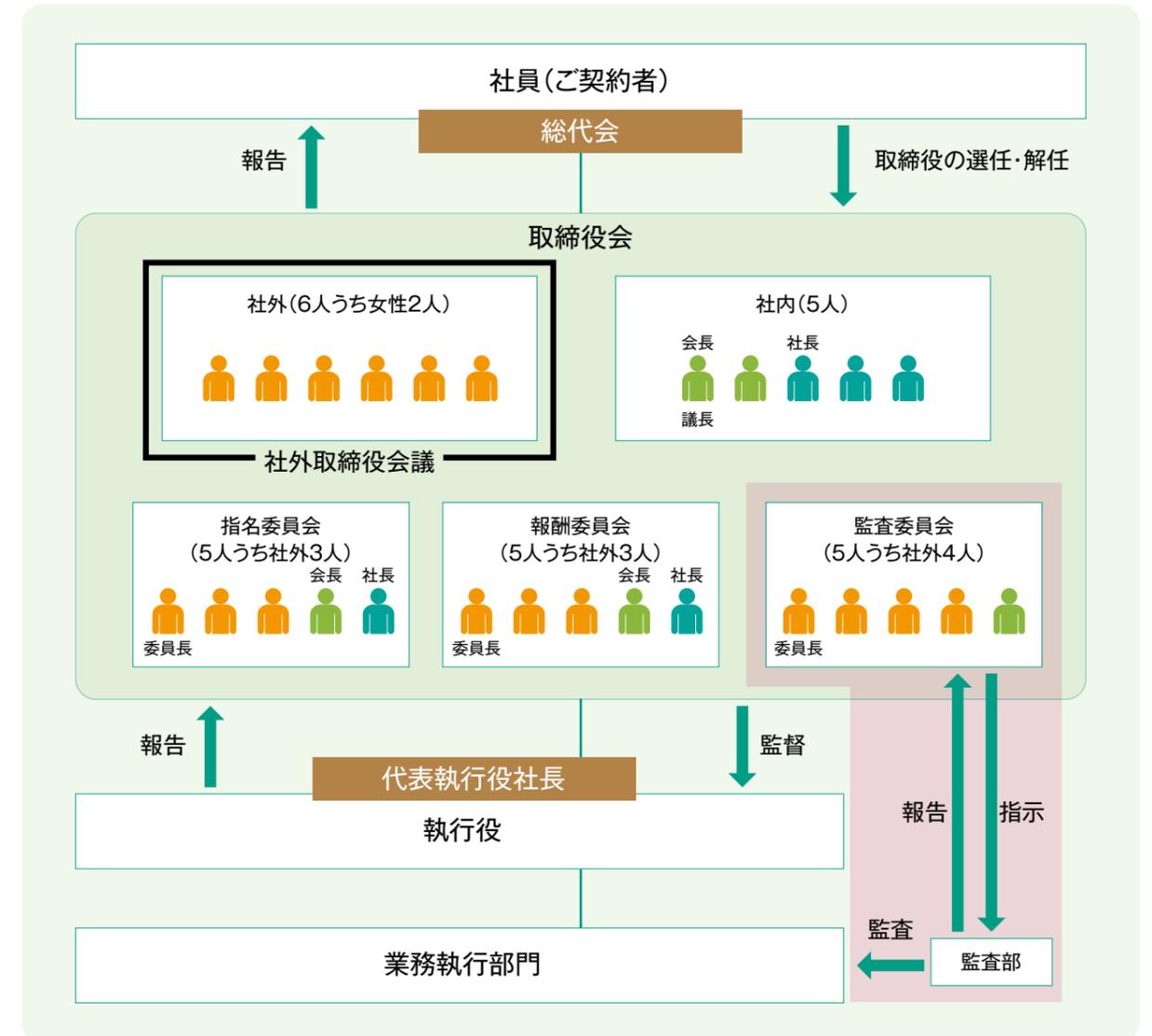


*1 当社調べ *2 2021年度決算における社員配当準備金繰入額「MYミューチュアル配当」分です
*3 会社の健全性の状況により、「MYミューチュアル配当」をお支払いできない場合があります

監督機能の強化(コーポレートガバナンス)

当社は、お客さまの生涯にわたる保障を提供する生命保険会社の使命と、契約期間が超長期にわたるといふ生命保険契約の特性をふまえて、相互会社としてコーポレートガバナンスの高度化に取り組むことを経営上の最重要事項としています。具体的には、総代立候補制度の導入、指名委員会等設置会社への移行、取締役の過半数を社外取締役とするとともに、執行役を兼務しない取締役会長とすることにより経営の監督機能と

執行機能の分離を明確化する等、コーポレートガバナンスの高度化を図ってきました。さらに、監査委員会の傘下に監査部を設置することで、監査部の経営からの独立性を強め、監査委員会が監査テーマを設定する等、監査部に直接指示する態勢を構築しています。また、当社では次世代を託すことができる人財をCEOとして選出するため、社外取締役会議においてCEOサクセッションプランを策定・運用しています



社外取締役
 社内非執行取締役
 社内取締役

「監督機能の強化」ポイント

2021年7月から執行役を兼務しない取締役会長とすることにより、監督と執行の分離をより明確化し、監督機能を強化しています

* 当社のコーポレートガバナンス態勢およびその高度化への取組みの詳細については、当社公式HPで公表している「コーポレートガバナンスに関する報告書」をご覧ください

明治安田生命の 強み

明治安田生命グループ事業

「Creating peace of mind, together」を明治安田生命グループ共通のメッセージとして、各社とその従業員が一丸となり、お客さまや地域社会をはじめとするステークホルダーとの絆を大切に、「確かな安心」をお届けします

明治安田生命グループ事業系統図

(2022年7月1日現在)

明治安田生命保険相互会社

保険業および保険関連事業

当社が生命保険業を営んでいるほか、子会社等が損害保険業および生命保険業ならびに保険関連事業を営んでいます

- | 明治安田損害保険株式会社
- | 明治安田保険サービス株式会社
- | エムエステイ保険サービス株式会社
- | パシフィック・ガーディアン生命保険株式会社
(Pacific Guardian Life Insurance Company, Limited)
- | スタンコープ・ファイナンシャル・グループ株式会社
(StanCorp Financial Group, Inc.)
- | 北大方正人壽保險有限公司
(Founder Meiji Yasuda Life Insurance Co., Ltd.)
- | PT アプリスト・アシュアランス
(PT Avrist Assurance)
- | TU オイロバ S.A.
(TU Europa S.A.)
- | TUIR ワルタ S.A.
(TUIR Warta S.A.)
- | タイライフ・インシュランス PCL
(Thai Life Insurance PCL)

〈主なグループ会社〉

▶ 明治安田損害保険

国内唯一の生保系損害保険会社として、明治安田生命の生命保険事業とのシナジーを活かし、クオリティの高い総合保障サービスをご提供します



▶ スタンコープ・ファイナンシャル・グループ株式会社

創業100年以上の歴史を持ち、世界最大の生命保険市場である米国において団体保険分野でトップクラスの生命保険会社で、米国における当社グループの成長のための重要拠点です

▶ 明治安田アセットマネジメント

明治安田生命グループの中核の資産運用会社として、お客さまに満足いただけるクオリティの高い資産運用サービス・商品をご提供します

▶ 明治安田総合研究所

ヘルスケア、デジタル技術、社会構造、経済環境等について、創造的かつクオリティの高い調査研究結果を発信します

資産運用関連事業

資産運用関連事業を行なう子会社等では、投資運用業、投資助言・代理業、不動産投資に係る業務、不動産管理業、金融経済調査業務、融資開拓支援業務等を営んでいます

- 投資運用業等
 - | 明治安田アセットマネジメント株式会社
 - | 三菱アセット・ブレインズ株式会社
 - | 明治安田アメリカ株式会社
(Meiji Yasuda America Incorporated)
 - | 明治安田ヨーロッパ株式会社
(Meiji Yasuda Europe Limited)
 - | 明治安田アジア・パシフィック株式会社
(Meiji Yasuda Asia Pacific Pte.Ltd.)
- 不動産管理業
 - | 明治安田ビルマネジメント株式会社
 - | 株式会社ケイエスピーコミュニティ

総務関連事業等

総務関連事業等を行なう子会社等では、事務代行業務、システム開発・運用管理業務、物品の斡旋・販売業務、金銭収納代行業務、調査・研究業務、アスレティッククラブの運営、有料老人ホームの経営等を営んでいます

- 総務関連事業
 - | 明治安田システム・テクノロジー株式会社
 - | 明治安田ライフプランセンター株式会社
 - | 明治安田オフィスパートナーズ株式会社
 - | 明治安田ビジネスプラス株式会社
 - | 明治安田商事株式会社
 - | 明治安田収納ビジネスサービス株式会社
 - | 日本企業年金サービス株式会社
- その他事業
 - | 株式会社明治安田総合研究所
 - | 株式会社サンピナス立川
 - | 株式会社ダイヤモンド・アスレティックス

*会社名は主要なものを掲載しています

トップメッセージ

「確かな安心を、いつまでも」
お届けしてまいります

「明治安田フィロソフィー」に基づく「パーパス経営」

当社は、経営理念である「確かな安心を、いつまでも」と、長期的にめざす姿である企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」、その実現に向けて役職員一人ひとりが大切にすべき価値観である明治安田バリューで構成される、企業理念「明治安田フィロソフィー」を根幹に据えた経営、いわば、「パーパス経営」を実践しています。

当社は生命保険会社として、この「明治安田フィロソフィー」に基づき、お客さまが健康で安心して暮らせるよう日々の生活に寄り添い、生涯にわたって支え続けられるよう、取り組んでいます。

私たちが今後も、お客さまにより長期にわたって寄り添っていくためには、ご契約者の利益を最優先とした長期安定的な経営が可能な相互会社形態が最適であると考え、2020年度から相互会社の強みを発揮して会社の成長をめざす10年計画「MY Mutual Way 2030」を推進しています。本計画では、「10年後(2030年)にめざす姿」を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定め、この実現に向けて取り組んでいます。

「サステイナブルな社会づくりへの貢献」

当社が営む生命保険業は、ご病気や死亡などの出来事にあわれた方を全契約者が団結して経済的に支えるという、社会のセーフティネットの役割を果たしており、このありよう自体が、サステイナビリティそのものであると考えています。

また、長期の時間軸を重視した相互会社の理念は、持続可能な社会の実現をめざすSDGsの理念と軌を一にするものであると考え、SDGsにおける17のゴール、169のターゲットから導き出される社会課題から、15項目の「優先課題(マテリアリティ)」を設定し、取組みを推進しています。

そのなかでも、「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」を「特に注力する優先課題」に設定しており、お客さまの健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」と、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」の2「大」プロジェクトの推進を通じて、社会課題の解決につながる取組みを推進しています。

また、環境保全や気候変動への対応が世界における喫緊の課題となるなか、これを「さらなる取組みが必要な優先課題」と位置づけ取組みを強化しています。その一環として、生命保険事業者・機関投資家の双方の立場から、2050年度までにCO₂排出量ネットゼロを達成するため、2030年度の間目標を設定し、国内の投融資先との対話等を通じてCO₂排出量の削減に向けた対応を促すなど、その達成に向けて取り組んでいます。

「社会的価値」と「経済的価値」の向上

持続可能な社会づくりへの参画が求められるこの時代では、「経済的価値」とともに、地域社会の発展や持続可能な社会づくり等への貢献による「社会的価値」の創出が強く求められています。

当社は今後も、ご契約者(社員)が会社の構成員であるという相互会社形態の強みを活かし、「社会的価値」を創出する取組みをよりいっそう推進するとともに、「社会的価値」向上と「経済的価値」向上の好循環を実現し、社会の発展とご契約者の利益を両立させる経営を推進してまいります。



明治安田生命 取締役 代表執行役社長 グループCEO

永島英器

補足のご説明

MY Mutual Way 2030

P4 P6



当社は契約者を構成員とする相互会社 (Mutual Company) の強みをいかに発揮して、長期的な環境変化に柔軟に対応しながら、時代を超えたお客さま志向の経営を追求していく、新たな10年計画「MY Mutual Way 2030」を策定し、2020年4月から開始しています。本計画では「10年後(2030年)にめざす姿」を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と掲げました。当社の「社会的価値」と「経済的価値」の双方を向上させ、「地域社会のお客さまに最も支持される生命保険会社になること」、「業界のリーディングカンパニーになること」にチャレンジします。

とことん!アフターフォロー 特別計画 P4

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う環境変化をふまえて策定した、2020年度の単年度の経営計画です。お客さま・従業員の安全確保を大前提に、保険金・給付金のお支払いをはじめとする基幹業務の確実な遂行と、お客さまへのアフターフォローに注力しました。

MY Mutual Way I期 P4

2021年度にスタートした3カ年プログラムです。すでに取り組んでいる4「大」改革(「営業・サービス」「基幹機能・事務」「資産運用」「相互会社経営」)の各領域における制度・インフラ等の抜本的見直しと2「大」プロジェクト(「みんなの健活プロジェクト」「地域の元気プロジェクト」)に「デジタルトランスフォーメーション戦略」を効果的に融合させることで、「10年後(2030年)にめざす姿」への成長軌道の確保、すなわち「フェーズチェンジ」をさらに加速していきます。

健康増進型商品 P10 P11 P26

保険契約後の健康状態や健康増進への取り組みによって保険料のキャッシュバックや給付金などがある保険のことです。

■当社の主な健康増進型商品

万を支える、健康を応援する ※1



【5年ごと配当付組立総合保障保険】

※1「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」を付加した場合の販売名称です

【5年ごと配当付組立総合保障保険】 ※2



※2「ベストスタイル 健康キャッシュバック 発見と予防のWサポート」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」「早期発見・治療支援特約」「重症化予防支援特約」を付加した場合の販売名称です

万を支える、健康を応援する ※3



【5年ごと配当付組立総合保障保険】

※3「ベストスタイル 健康キャッシュバック 女性がん・早期発見サポート」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」を付加した場合の販売名称です

いまから 認知症保険 MCIプラス ※4

5年ごと配当付認知症終身保障保険(解約返戻金抑制型)

※4「いまから認知症保険 MCIプラス」は「軽度認知障害終身保障特約」を付加した場合の「いまから認知症保険」をいいます

団体がん保障保険

【がん対策支援特約付団体がん保障保険】

「地域づくり・未来世代」 応援プロジェクト (日本赤十字社との連携) P14

日本赤十字社の協力のもと、当社が両社に関連する団体・民間企業等との幅広い連携・協働や、コンテンツ活用等のコーディネーターとなり、地域社会の活性化や課題解決に向けた両社のノウハウ等を融合のうえ展開するプロジェクトです。具体的には、各地域でさまざまな取り組みを展開している日本赤十字社と当社の連携による健康・福祉・介護・教育等の「ソーシャル・インクルージョン」に関する支援のほか、将来的に安心して暮らせる環境維持等への取り組みを進めてまいります。



日本赤十字社との「地域づくり・未来世代」応援プロジェクトの展開に関する包括パートナーシップ協定の締結式

「私の地元応援募金」 P14

当社の営業拠点が所在する全国の自治体等に対して、従業員が出身地などのゆかりある地域を指定して行なう任意の募金に、会社拠出を上乗せして寄付を行なう活動です。



「私の地元応援募金」の贈呈式(八戸支社)

事務サービス・コンシェルジュ P22 P24

「事務サービス・コンシェルジュ」は事務・サービスに関する専門知識を有する事務職員で、MYリンクコーディネーター等(営業職員)とともにお客さまを訪問して、保険金・給付金のご請求をはじめ、ご契約にかかわる各種お手続きを完了までサポートします。

MYほけんページ P24



「MYほけんページ」は、パソコンやスマートフォンでご契約内容の確認や、保険のお申込みなどの各種お手続きができるほか、健康維持や病気の早期発見・治療に関するサービスをご利用いただける、当社のお客さま専用サイトです。

MY法人ポータル P26

「MY法人ポータル」は、企業保険のご契約者の事務を効率化する無料のインターネットサービスです。保険金・給付金等のお手続き書類の作成ができるほか、ご加入者の異動手続き等をオンライン上でペーパーレスで行なうことができます。

みんなのMYポータル P26

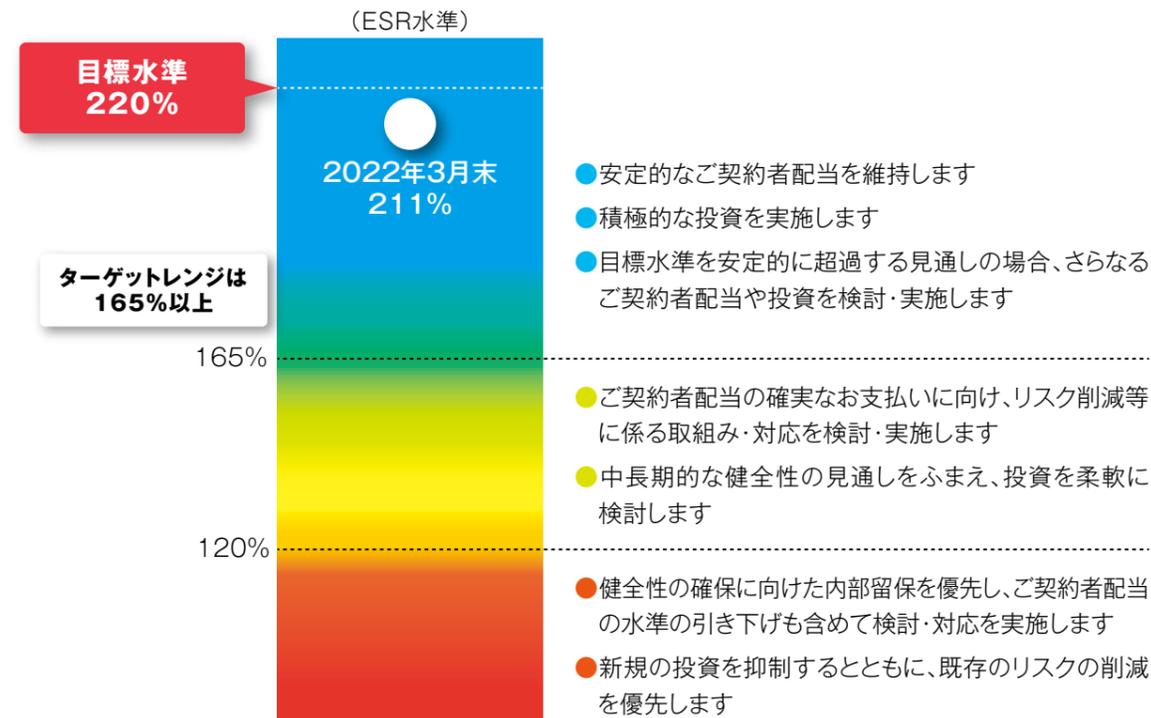
「みんなのMYポータル」は、企業・団体の従業員・所属員向けの専用ポータルサイトです。スマートフォンやタブレットを使って、団体保険制度の加入内容のご確認、加入・変更のお手続き等ができます。また、団体・企業ごとにニュースの発信や掲示板機能等を搭載した専用アプリを2022年4月より展開しています。

グループESR P30

「ESR(Economic Solvency Ratioの略)」は、リスク量全体に対して十分な自己資本が確保できているかを示す経済価値ベースの健全性指標です。

当社は、経営目標において「グループESR」を設定し、「安定的に165%以上(当面は220%をめざす)」を目標としつつ、リスクテイクや配当還元についてESR水準に応じた運営を行なっています。

<健全性水準に応じた経営の方針※>



※ 本方針は、国内における経済価値のソルベンシー規制の導入に向けた検討状況をふまえ、将来的に経済価値ベースのソルベンシー比率の算出方法を含めて見直します

連結ソルベンシー・ マージン比率 P30

「ソルベンシー・マージン比率」とは、大災害や株価の暴落等、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる純資産や準備金等による「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象となります。「連結ソルベンシー・マージン比率」は連結子会社等を加えてグループ全体を対象とした「ソルベンシー・マージン比率」になります。

グループ保険料 P30

「グループ保険料」とは、連結損益計算書上の保険料等収入の金額です。

「保険料等収入」はご契約者から払い込まれた保険料等による収益で、生命保険会社の収益の大部分を占めています。

グループ基礎利益 P30

「基礎利益」とは、保険料等収入や保険金・事業費支払い等の保険関係の収支と、利息および配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。

「グループ基礎利益」とは、明治安田生命の基礎利益に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値です。

評議員会 P32

「評議員会」は、社員または学識経験者のなかから総代会の承認を経て選出された評議員(20人以内)で構成され、会社からの諮問事項や経営上の重要事項および社員からいただいた会社経営に関するご意見を審議する機関です。審議事項は、総代会で報告しています。

総代候補者選考委員会 P32

「総代候補者選考委員会」は、社員のなかから総代会で選任された総代候補者選考委員(10人以内)で構成されています。

総代の選出にあたっては、総代候補者選考委員会が「総代候補者選考基準」を定め、幅広い層の社員から選定した総代候補者から選出します。

当社は、総代候補者選考過程における会社からの独立性を確保することを目的に、総代候補者選考委員会の任務を補佐する総代候補者選考委員会事務局の事務局長を社外の人材に委嘱しています。